

第18回やまなし環境活動推進 ネットワークフォーラム

～「エコライフ県民運動」の
これまでと、これから～

～Program～

日時：平成28年1月30日(土)

場所：ぴゅあ総合 2階大研修室

◇13:00～13:25 「若宮賞」表彰式
「感謝状」贈呈式

◇13:30～14:30 リレートーク

◇14:40～16:00 ワークショップ

主催：公益財団法人やまなし環境財団・環境パートナーシップやまなし
☆「キャンパスネットやまなし」の連携講座です。

平成27年度「若宮賞」受賞者の紹介

県内各地で、優れた環境保全活動を継続して行っている個人や民間団体を本財団では、「若宮賞」として表彰します。

若宮賞) この賞は、県民の皆さんの自主的な環境保全活動を大きく育て、その取り組みを広く紹介することを目的に定めたもので、「若宮賞」という名称は、本財団の設立に多大なご協力をいただいた故若宮きよの様のお名前を記念したものです。

【団 体】

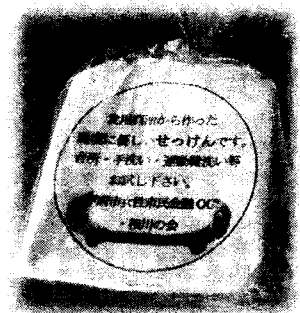
(敬称略・五十音順)

○ 甲府市女性市民会議 OG・相川の会 (甲府市)

各家庭から使用済食用油を回収し、その廃食油を材料として石けんづくりを行っている。

作成した石けんは、相川地区の健康と福祉祭りなどで配布し、作り方の指導を行っている。

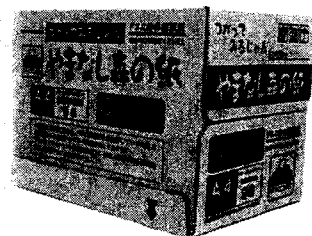
廃食油の利用により地球温暖化防止に寄与されている。



○ やまなし森の紙推進協議会 (甲府市)

未利用材を有効活用した山梨県の森林を守る紙の普及や、消費を通じた森林整備への支援活動、違法伐採を抑止する国際森林管理認証 (FSC) の普及啓発などに貢献している。

また、障害者就労施設に加工作業を委託するなど、環境のみならず福祉にも貢献する視野の広い取組を行っている。



「リレートーク」発表団体紹介

◇ 特定非営利活動法人みどりの学校

「自然エネルギーの普及啓発活動」

発表者 芦澤 公子 氏

◇ 「みずうみ」

「たのしくエコ活動・おばあちゃんの知恵袋開催」

発表者 外川 恕子 氏

◇ やまなしエコネットワーク

「やまなしエコネットワークのこれまでとこれから」

発表者 鈴木 嘉彦 氏

◇ あしたの山梨を創る生活運動協会

「食品ロスの発生抑制と減量化推進活動について」
～ “見直してみましよう” あなたの食生活～

発表者 石井 直江 氏

団 体 名	特定非営利活動法人みどりの学校
ふ り が な 代 表 者 名	理事長 あしざわ きみこ 芦 澤 公子
所在地（事務局）	甲府市宮原町 90-2
ふ り が な 発表者職・氏 名	理事長 あしざわ きみこ 芦 澤 公子
発 表 テ ー マ	「自然エネルギーの普及啓発活動」
活 動 内 容 等	○市民立共同発電所の設置 2003 年に、山梨県では第 1 号となる「国母おひさま発電所」を、甲府市国母の法光寺の本堂に設置。設置費用の半額は NEDO の助成金で賄い、残りの半額は個人・企業・団体計 272 件の寄付金で賄いました。その後ノウハウの提供等で、県内の市民立共同発電所は 2011 年までに 9 ヶ所に広がりました。 ○環境学習会の開催 環境学習プログラムをまとめ、幼児から大人までを対象に、地域や学校等で環境学習会を行っています。近年では甲府市と協働で市内小学校に出向いて「太陽エネルギー教室」を行っています。 ○自然エネルギーの調査研究 小水力、木質バイオマス、太陽熱、地中熱など、県内の他団体と協力して、山梨県内で有効な自然エネルギー利用について調査研究を行っています。 昨年度からは、老朽化した太陽光発電のメンテナンスを促す、パワーコンディショナーの健康診断も行っています。
PR したいこと	○地球温暖化の影響は、もはや生命の存続に関わるものになっています。楽しみながら身近にできる省エネ等たくさんあります。その一例を紹介しますので、ぜひ参考にして取り組んでください。 ○ 2016 年度は、ソーラークッカー全国大会を予定しています。（太陽熱利用全般含めて）関心のある方は参加してください。
課題等	動けるメンバーが少ないので、どうやってスタッフを増やすかが課題。

団 体 名	「みずうみ」 2007年設立
ふ り が な 代 表 者 名	会長 ^{とがわ} 外川 ^{みちこ} 恕子
所在地（事務局）	富士河口湖町浅川 602 女14、男11、15-05-4
ふ り が な 発表者職・氏 名	会長 ^{とがわ} 外川 ^{みちこ} 恕子
発 表 テ ー マ	「たのしくエコ活動・おばあちゃんの知恵袋開催」
活 動 内 容 等	○ 男女共同参画社会の実現を目指して、女性の目線から“まちづくり・地域の活性化”を考え、町の発展のために行動する。 ○ 世界遺産の町との自覚と誇りに燃えて“誰もが住み良い町づくり”に取り組む。 ○ 環境福祉などあらゆる情報も発信し、ゴミの減量や生ゴミの水切りなどを訴え、「おばあちゃんの知恵袋」でたのしくエコ活動を推進する、“よみがえる善物・ファッションショー”など。
PR したいこと	○ “おばあちゃんの知恵袋”では、、エコ曲を、環境教育に ・やまなしエコライフ県民運動 ・省エネ県民運動 ・食品ロス削減運動 も合わせてPRしています。 ○ 環境講演会で“片手でしぼって1億円 両手でしぼって3億円”を地域に訴えた。（確実に減量は進んでいる）
課 題 等	○ 環境家計簿をつける人を多くしたい。 ○ エコドライブ宣言する人を増やしたい。 （富士山の高さ 3,776 人）

団 体 名	やまなしエコネットワーク
ふ り が な 代 表 者 名	代表 すずき よしひこ 鈴木 嘉彦
所 在 地	甲府市古上条町 225-1
ふ り が な 発表者職・氏 名	代表 すずき よしひこ 鈴木 嘉彦
発 表 テ ー マ	「やまなしエコネットワークのこれまでとこれから」
活 動 内 容 等	〔市民環境オンブズマン活動〕 市町村に対してアンケート調査を行い、併せて市民環境オンブズマンが市町村を訪問し、ヒヤリング調査。優れた取り組みについては、他の市町村の参考になるよう「ひとめでわかる山梨のエコ」としてまとめ、公表。活動は 1998 年から継続している。ヒヤリング前にはオンブズマン研修を実施。 〔普及啓発活動〕 県民の日「小瀬会場」においてオンブズマン活動調査結果紹介、環境 10 大ニュースアンケート調査、エコグッズ紹介など 〔環境セミナーの開催〕 「世界の先進事例から学ぼう～スウェーデン、ヴェクショー市の取り組み～」、「どうすすめる？温暖化防止はじめの一步」など(山梨県地球温暖化防止活動推進センター、山梨市などと共催) 〔他の組織との連携〕 持続可能な地域社会を作る『日本の環境首都コンテスト』全国ネットワークに参加。NPO「スペースふう」に協力「エコイベントガイドライン」策定。ライトダウンやまなしへの協力など。 〔調査研究〕 パルシステム連合会の助成を受け熱エネルギーの有効利用に関する熱エネルギーベストミックスについて調査研究を実施。
PR したいこと	持続可能な社会づくりのために、地方自治体が取り組むことができる種々の方法について、20 年間のオンブズマン活動等を通して多くの事例を把握し、助言できる情報を所有している。 太陽熱・地中熱・木質バイオマス熱などの有効活用に関して、地域や施設の特性にふさわしい方法を助言できる基礎的知識体系を備えている。
課題等	上記「PR したいこと」に記述したとおり、持続可能な社会づくりに有効な情報や知識をもっていると考えているが、それらを活用する場をつくるのが難しいこと。 新しい会員を増やす機会が少ないこと。

団 体 名	あしたの山梨を創る生活運動協会
ふ り が な 代 表 者 名	会長 ^{いしくぼ} 飯窪 さかえ
所在地（事務局）	甲斐市下菅口 65 番地
ふ り が な 発表者職・氏 名	常任理事 ^{いしい} 石井 ^{なおえ} 直江
発 表 テ ー マ	「食品ロスの発生抑制と減量化推進活動について」 ～ “見直してみましよう”あなたの食生活～
活 動 内 容 等	・私たちの団体の活動目的は、住みよい地域社会の実現をめざして日常生活における身近な地域の生活課題を取り上げ、関係団体等と連携して実態調査・学習・課題解決のための対話集会・事後の啓発活動等を一連の活動方式として活動を続けている団体です。 ・多年にわたり環境保全・省資源・省エネルギー運動の推進に取り組んできた過程で、山梨県の廃棄物の現状を分析してみて、家庭から排出されるゴミ量が多いことから実態の把握を課題として調査を実施。その結果から「食ロス」への取り組みがスタート。 1 家庭ごみ組成調査実施 ^{1002年17日} 2 食品ロス削減に向けたシンポジウム 3 食ロス削減運動推進 キャンペーン活動実施 啓発活動として（学習会・ステッカー・チラシ等の配布） 4 生ゴミ削減 “ひと絞り運動推進（水切りネット配布）” ^{2019年10月} ²⁰⁻¹⁰
PR したいこと	★発生抑制、消費削減、再使用、再利用、更に命の大切さ地球資源に対する尊敬と感謝の念をもつこと（勿体ない運動の推進） ★食料問題と環境問題に対する県民意識の高揚 ★県民・企業、業界、行政の協働参加による県民運動として推進
課題等	県市町村行政・関係団体等との情報交流による課題の共有による運動推進への体制と実践行動企画により、県民運動への波及を効果的に進めていく方策への取り組みについて検討。